

# 【プログラム9：20年予想S

## ～どんなことが待っているかな～】

☆ねらい：これからの自分自身の見通し（人生設計）を考えることを通して、自立への足がかりを見つめ、実践していこうとする気持ちを高める。

### 《プログラムの概要》

キーワードの例	人生の見通し・自立
時 間	30分
人 数	何人でもできる
活動形態	個人＋グループ
準備物	ワークシート（人数分）
主な活動	①「家庭」を持つ意味について考える。 ②「20年予想S」を考える。 ③「自分の将来設計に向けてやっていくこと」を考える。 ④話題になったことを紹介する。
気を付けること	○将来設計を考える活動は、他と比べるのではなく自分自身の見通しを持つことを大事にしたものであることを伝える。
備 考 (アレンジ等)	○プログラムNo5：メッセージ for me～自立に向けて～とあわせて展開することもできる。
ステップ（中高生 期）編との関連	No17：未来予想S～10年後の子どもとわたし～

## 【プログラム9：20年予想S～どんなことが待っているかな～】

時間	形態	講座の流れ	
1分	全体	1. ねらいを確認する。 [キーワード] ○人生の見通し・自立	【1分】
27分	個人 グループ	2. 「家庭」を持つ意味について考える。 (1) 考えをシートに記入する。 (2) 意見交換をする。	【6分】
	個人	3. 「20年予想S」の人生設計曲線を考える。 (1) 方法を知る。 ○これからの20年間でどんな出来事があり、どんな気持ちになりそうかを考え、シートに記入する。 ・出来事は、「就職」「結婚」の例示の言葉を手がかりに考えさせる。	【9分】
	個人 グループ	(2) シートに記入する。 (3) シートへの記入が早く終わったら、互いにシートを見せ合う。	
	個人 全体	4. 「自分の将来設計に向けてやっていくこと」を考える。 (1) シートに記入する。 ※「勉強を頑張る」「大学進学する」等より、「毎日○時間学習する」「自分の洗濯物は自分で片づける」「家族にもあいさつをする」等の、より具体的で日常生活に結びつく行動がよい。 (2) グループで意見交換をする。	【10分】
	全体	5. 特に話題になったことを全体に紹介する。	【2分】
2分	全体	6. まとめ  人生の大きな転換期となるこれからの20年間で、自分はどう生きていきたいかを考えることは大切なことである。 また、自立に向けて「今やっておくことや、これからやっていくことはどんなことか」ということを考え、できる範囲で取り組んでいくことも大切なことである。	【2分】

### 【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・これまでの家族とは別に、新しく自分で家庭をもつとき、自分の生活とともに、家族（子ども）の生活も同時進行する。親になることでの喜び、悲しみ、不安などいろいろな感情があるが、家庭のよさ、家族のよさを、自分から今度はさらに次の世代へと継承して行ってほしい。

## ♪ 20年予想S

◆これから起こるであろう出来事を書き込もう。  
例以外の出来事も考えて書いてみよう。  
例：就職 結婚 進学 第1子誕生  
第2子誕生 家を建てる など

◆「家庭」を持つ意味は何だと思う？

◆自分の将来設計（自立）に向けて、やっていくことを5つ書こう。